

れんごう中越地協

第935号2017.7.11
連合中越地域協議会
長岡市東蔵王2-2-68
TEL 0258-24-0515
FAX 0258-24-8930
発行人 矢島 良彦
定価 1部10円
購読料は会費に含む



連合中越地協第81回地協委員会

2月以降の活動報告と諸事業承認

前段ミニ講演会は、小坂井市議から市政課題等を聴講する

連合中越第81回地協委員会が、6月23日(金)に開かれた。地協委員会前のミニ講演では、小坂井市議員から長岡市政について講演を受け、午後6時30分からの地協委員会では、2月期以降の活動報告と当面する諸事業を審議決定した。



午後6時からの地協委員会前ミニ講演は、小坂井和夫市議員(民成クラブ)と五十嵐良一市議会議員(民成クラブ)から、講演を受けることとしたが、五十嵐議員は、23日から姉妹都市のドイツ・トリアー市に視察

となったため、会報での市政報告となった。小坂井市議からは、長岡版イノベーション、長岡市の正規職員と非正規職員関係、長岡花火財団組織、長岡市勤労者福祉サービスセンターの福利厚生制度としくみ、住宅の耐震リフォームと市の助成制度等、多岐にわたっての有意義な講演を受けた。

ミニ講演終了後、地協委員会を開会した。矢島議長は開会挨拶で「17春闘」第88回

「返済不要の給付型奨学金事業を実施するための改正日本学生支援機構法(3月末)が成立したが、これは労働者福祉協議会の運動の結果だ」等の挨拶を述べた。

引き続き報告事項として、2月以降の主な活動と中間決算報告、監査報告がされ、それぞれ承認された。

報告承認後、3産別から報告された。先ず、匿名会計監査(紙

パ連合・北越紀州製紙労組長岡支部)からワーク・ライフバランスや子育て支援制度の拡充、半日有休回数増、時間外労働事前申請のシステム化等がされた。続いて、坪谷代議員(自治労・厚生連労組中央支部)からは、経営側の組合脱退

17年度通常総会で報告と事業計画承認

長岡地区労働者福祉協議会

長岡地区労働者福祉協議会(以下、地区労福協)の2017年度通常総会が、6月23日(金)午後1時30分から長岡市勤労会館で開かれた。総会は、横澤幹事が司会を務め、山田副会長(総合生協中越地局長)が開会挨拶を述べた。続いて、矢島会長は「労福協が認知され



るよう、生活者に開かれたオープンな運動を

勸奨や不当配転・不当労働行為救済を求める賛同署名への協力が訴えられた。次に、多田事務局次長(日教組・新教組)からは、「子どもたちにゆきとどいた教育を! 30人以下学級実現を求める請願署名」への協力和教職員

の長時間労働の実態が報告された。これら3報告を参加者全員で共有し、連帯していくことが確認された。次に、審議予定事項として、平和関連事業、囲碁将棋大会、中越地域医療部門連絡会、2017にいがたワーク&ライフフォーラム in 長岡、次年度に向けた自治体要望の取り組み、蕎麦撒きと蕎麦打ち体験やS J ネット委員会「スポーツ交流」等を審議し決定した。

先月23日、小林麻央さんが亡くなって涙した人も多かったのではないだろうか。私もその一人ですが、同じ日にもう一つ涙する出来事がありました。それは沖繩全戦没者追悼式での平和の詩の朗読を聞いたときの感動でした▼「ここに誓おう。私は、私達は、この国は、この世界は、きつと愛おしい人を守り抜くことができる。この地から私達は、平和の使者になることができる」▼糸満市摩文仁の平和祈念公園で開かれた式典で、上原愛音さん(高校三年)が参列者の顔を一人ひとり見ながら力強く、不戦を貫く決意を込めた「誓い」私達のおばあに寄せて」と題した詩を朗読し、会場からは共感の拍手が湧きました▼詩の中で上原さんは、戦没者や戦争体験者をおばあ、おじい」と表現していただきました。そして、「おばあ、大丈夫だよ。今日、私達も祈っている。尊い命のバトンを

副議長 横澤勝之
受けて、今、祈っている。おじい、大丈夫だよ。この島にはまた笑顔が咲き誇っている。私達は、貴方達の想いを、指先にまで流れるあの日の記憶を、いつまでも、紡ぎ続けることができると語ることで、戦没者に「安心して」という気持ちを伝えたいと思います。詩の結びは「おばあ達が見守る空の下、私達は誓う。私達は今日を生かされている」▼私達は、過去とは無縁で今を生きているのではなく、過去の歴史の積み重ねの上に生かされているといえます。長岡もまもなく8月1日の長岡空襲の慰霊の日を迎えます。前後して様々な平和関連の取り組みも行われます。沖繩戦、長岡空襲に限らず、すべての戦没者に「安心して」と伝えられる自分であるために、もう一度歴史を見つめ直すよう高校生がこの詩から教えられた気がします。



川長岡市商工部産業政策課長が祝辞を述べ、間県労協専務理事、小野塚専務局長が挨拶並びに県下の状況を報告した。

先ず、16年度事業報告では、4月の地区労福協幹事会で確認した事業内容と決算、監査報告を承認した。

次に、17年度事業計画として、2017にいがたワーク&ライフフォーラム in 長岡、第二次五カ年計画

連合中越地協第9回幹事会
日時 7月14日(金)18:30~
場所 長岡市勤労会館
議題 平和運動関係の確認 当面の諸活動 等
連中発16・17第143号

サラリーマン川柳(ボーマナスを 変換すれば 小与と出) (表示より 鼻が確かと「まだいける」) (子どもより 大人に足りぬ 羞恥心) (暇過ぎて いつでも出来る) し忘れる)

サラリーマン川柳(謝るわ 目鼻口胸 偽装なの) (バーゲンの 値札めくって ご満悦)

2017「農業・食料・環境問題を学ぶ」 連中越 そばの種播き&そば打ち体験

- 日時 7月30日(日)
- 場所 見附市葛巻地内の田んぼ(下記案内図参照)
- 日程 9時20分 受付開始
9時40分開会式 指導を受けて、種まき。
10時50分 蕎麦打ち体験(葛巻公民館)
12時30分 蕎麦の試食&昼食(13時30分終了予定)
- 参加費 大人1000円、子供は無料(豚汁付き)
- 申込締切 7月20日(木) ※連中越地域協議会(Tel:0258-24-0515)まで
- 持ち物 おにぎり、お箸、お椀
- その他 汚れてもよい服装で来てね
(長靴、タオル、三角巾となるもの等を各自で用意)

!!!注意!!!
そばアレルギーの人や
子供だけの参加は、
できません。
(ご了承ください)



楽しく、そばの種播き



主催:「農業・食料・環境問題」を学ぶ中越地区実業委員会
問合せ:連中越地域協議会事務局まで
(TEL0258-24-0515 FAX0258-24-8930)

★雨でも決行だよ
公民館で体験します

平成29年度 長岡空襲殉難者遺影展・住宅焼失地図展

空襲で亡くなられたかたがたのご家族から提供された344名の遺影を展示します。

7月2日(日)~8月31日(木)

午前10時~午後4時 長岡戦災資料館3階 学習室



おねがい
当館では長岡空襲で亡くなられた方のお写真を探しています。
ぜひ、お写真の提供にご協力ください。

戦災前の学校別住宅地図をもとに、
空襲による焼失状況などを色分けによって
区別した「住宅焼失地図」を展示します。

お問い合わせ

〒940-0061 長岡市城内町 2-6-17
長岡戦災資料館
TEL 0258-36-3269
FAX 0258-36-3335

(政権を 奪回できぬ うちの父) (こちらから たまにはガチャ切り してみたい)

酒造りではなくて、
カシヒカリと米こうじで
造られた日本酒です。

純米吟醸
大地のおくりもの

アルコール分15度
原材料名 米・米こうじ 精米歩合55%
原料米はすべて長岡市産

年二回の季節限定商品です。
(冬)造りたて生酒
(夏)清酒

飲酒は二十歳になってから

【価格】
大地のおくりもの四合瓶(720ml) ... 1,600円
おつまみセットもごさいます。

販売 池浦酒造株式会社
新潟県長岡市西高1538番地
辰巳屋 池浦 隆
企画 地域循環ネットワーク
サークルみずばしろう

純米吟醸「大地のおくりもの」が美味しいワケ



●無農薬・無化学肥料の長岡産コシヒカリ100%

遠藤英一さんが EM 菌を活用して肥料作りを行い、農薬と化学肥料を使わず、精魂込めて作り上げたコシヒカリを使用しています。
※EM 菌・酵母・乳酸菌、光合成細菌などを主体とする微生物資材

●酒造りは和楽互尊でおなじみの「池浦酒造株式会社」

創業は天保元年(1830年)。良寛和尚終焉の地(旧和島村)にて、品質本位の手作りを基本とした酒造りをしています。銘酒「和楽互尊」は、互いに尊びあえば和やかで楽しいという意味であり、酒造りを通じて広く世の中に平和を導こうという願いが込められています。

FAX (0258-24-8930)

大地のおくりもの申込書

ご氏名	①大地のおくりもの ・・・1,600円 本= 円
電話番号	数量 ②おつまみセット(数量限定) (お酒1本+ながおかボークボンレスハム) ・・・2,600円× 個= 円 合計 円
領収書 ○を付けてください	要・不要
受取方法 ○を付けてください	①連中越事務局にて受け取り ②配達を希望される方(長岡市内組合事務所迄) [住所]〒
おつまみセットお届け日	7/26(水) ※切は1週間前まで

お問合せ NPO法人 地域循環ネットワーク TEL:0258-34-4450
〒940-0029 新潟県長岡市東蔵王 2-1-10 市民生活工房内 FAX:0258-34-3722

連中越 TEL:0258-24-0515 FAX0258-24-8930